

『花を訪ねて： 彼岸花』

幸手権現堂公園散策 (2023年9月24日(日))

昨年の9月には松戸市の「祖光院」に彼岸花を見に行っていたが、今年は幸手市の「権現堂櫻堤」に行くことにした。参加された方は伊藤、浮津、神田、三ヶ原、柳沢さんと陽田の6名になった。

幸手駅は東武日光線で、色々なルートがあるので、「9時20分幸手駅集合」だったが、参加予定の皆さん10分前には集合した。最近では観光客集めのため、駅に行事のパンフレットを置いてあるのだが、ここでは「権現堂」の矢印の表示と「櫻堤」の大形写真が壁面を飾っているだけで、他には一切何もない。当初計画では「権現堂」までバス乗車だったが、約3km弱の距離なので“歩け歩け”とした。今朝はようやく少し冷え込んで寒い位だが晴れて気持ちが良い、歩けば暑くなるでしょう。

街中の通りを歩いて約40分、10時に「県営権現堂公園」入口に着いた。中川沿いの堤防の土手：「権現堂櫻堤」の櫻並木の下に、約1kmに亘って彼岸花が植えられている。堤上の道の上って、“歓迎門”をくぐるが、彼岸花はあまり咲いていない！今年の夏の暑さのために、彼岸花は“まだ寒さが来ない”と眠りから覚めるのが遅れたようだ。だが、先へ進むと段々開花した花が増えてきた、蕾を持った花茎は非常に多い。これらが咲きそろってきたら素晴らしいだろうと思われる。目の位置を低くして見ると沢山の花が見られるので、結構満足できる。

散策に来た人達などが増えてきたが、日曜日にしては少ないかな。櫻並木の下を進む。右手、中川に架かる「外野橋」が目立つ、両手を空に向かって差し伸べている形をイメージしたようだ。途中から櫻堤の土手上の道を歩く、かなり先まで行ってから引き返すことにした。小さな「丸池」の傍にベンチがあったので、小休止した。「丸池」は葦に囲まれており、「カワセミ」が飛来するらしく、長焦点レンズを三脚に載せてじっと待っている人達が5~6人いた。

10時50分で、今から「権現堂バス停」へ戻れば、11時20分のバスに間に合うので、引き返すことにした。定刻に来たバスに乗り、途中で下車して、国道4号線沿いにあるファミレス：「ガスト」に落ち着いた。各々好みの飲み物で乾杯した後の料理の注文は「タブレット端末」によるのだが、色々な組み合わせが可能なのだ。慣れないのでもたもたしていたら、お嬢さんが親切に全部やってくれた。料理の運搬は「ロボット」だった。しかし、「スープ」だけは自分で取りにいかねばならなかった。

反省会では色々な話題がでたが、浮津さんが「猪苗代湖の夕日」など旅行の写真や孫の写真をご披露された。三ヶ原さんはこの近くの「杉戸温泉」にも行ったことあると。これからの山行計画になり、10月6日の「那須・茶臼岳」は紅葉が遅れているので、少し遅らせることに、22日「小江戸川越歩き」、11月の紅葉狩りでは「養老溪谷」だが小湊鉄道が大雨で不通になっていて駄目、下旬に「高尾山」あたりか。12月忘年山行は京王線長沼駅近くの「長沼公園→鎌田鳥山」になるだろうと。

14時にお開きにして、幸手駅へ向かう。途中「東さくら通り」に、80cm位のスタンドにガラス張りの額に収めた毛利衛、田村亮子、有森裕子、若花田などと、有名人の手形が飾られていた。幸手市の「幸せの手」にちなんだものだと。14時23分発急行に乗り、ルートが異なるので車内解散した。

以上 陽田



櫻堤の彼岸花



赤花彼岸花



白花彼岸花

